

第10回 合致溶融化合物が存在する状態図

1. 合致溶融化合物

固体の化合物がある温度でそれと同じ組成の液相となって溶融するような化合物のことを合致溶融化合物と言う。図1のA - B 2成分系状態図では，化合物Dが合致溶融化合物となる。また，この状態図はA - D 2成分系状態図（共融型）とD - B 2成分系状態図（共融型）に分けて考えることができる。このように，ある状態図を独立ないくつかの小部分に分けた時に，その小部分を元の状態図の**部分系**と呼ぶ。

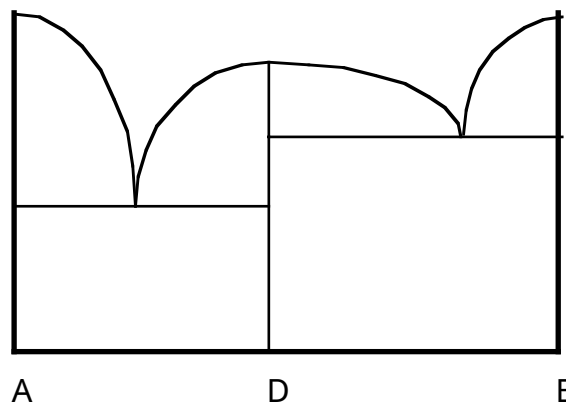
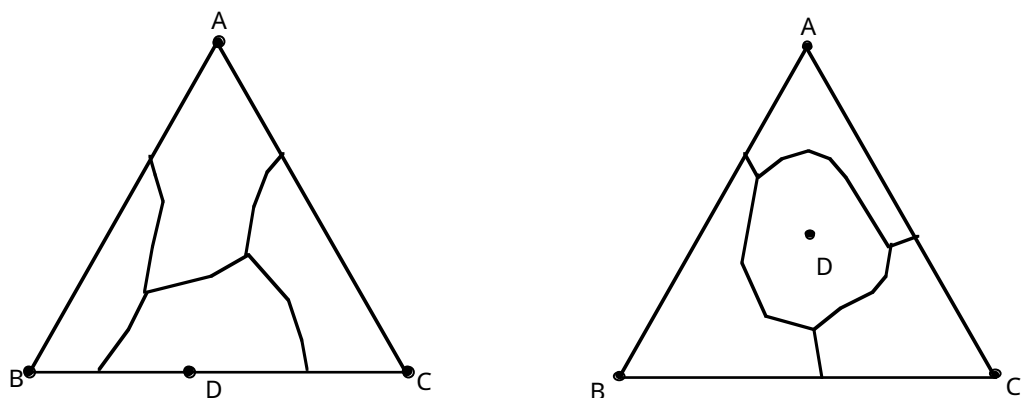


図1 2成分系における合致溶融化合物型の状態図

2. アルケマーデ線

3成分系状態図の境界線を形成する隣接した2つの初晶域において，晶化する初晶の組成点を結んだ線をアルケマーデ線と言う。もし，3成分系状態図中の化合物が全て合致溶融化合物であるならば，アルケマーデ線で囲まれたいくつかの部分系に分けることができる。



本著作の著作権を保護するために，以下のページを省略します。